



広島県内経済情勢報告

～広島県の経済情勢について～

令和6年2月1日
財務省 中国財務局

【お問い合わせ先】
中国財務局経済調査課
電話 (082) 221-9221

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項目	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→

（注）6年1月判断は、前回5年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、外出関連消費が好調なことなどから、緩やかに回復しつつある。生産活動は、半導体不足の改善などから、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	→
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	→
設備投資	5年度は前年度を上回る見込み	5年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	5年度は減益見込み	5年度は増益見込み	↗
企業の景況感	「上昇」超に転じている	「上昇」超幅が拡大している	→
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	→
輸出	前年を下回る	前年を上回る	↗

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

業態別にみると、百貨店販売は、衣料品などが低調であり、前年を下回っている。家電販売は、暖房器具などが低調であり、前年を下回っている。スーパー販売は、外出関連用品などが好調であり、前年を上回っている。ドラッグストア販売は、医薬品などが好調であり、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、普通乗用車が好調であり、前年を上回っている。このように、個人消費は、全体では、緩やかに回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- 暖かい日が多く、コートなどの防寒アイテムの売行きが低調であった。（百貨店）
- 気温が下がってきて持ち直してきたものの、例年より気温が高い時期が長く、エアコンなどの暖房器具が低調であった。（家電販売）
- 物価高による消費者の節約志向があるものの、外出の増加により、キャリーケースなどの外出関連用品は引き続き好調。年末年始は、帰省して大人数が集まって飲食する機会が増加し、大型のオードブル・寿司・焼肉用食材などが好調となった。（スーパー）
- インフルエンザの流行などにより、総合感冒薬や咳止めなどがよく売れているほか、新店効果もあり、売上が伸びている。外出機会の増加などにより、メイク用品も引き続き好調。（ドラッグストア）
- 半導体不足の緩和により、完成車メーカーからの供給が増えたことから、納車待ちの状況が解消されつつあり、登録台数が前年を上回っている。（自動車販売）
- 観光需要は引き続き好調で、円安の影響もあり外国人観光客の宿泊も増えている。飲食店の利用も増加している。（宿泊業・飲食サービス業）

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

鉄鋼は、海外向けの需要が低調なことから減少している。プラスチック製品は、ノートパソコン向けの需要が低迷していることなどから、減少している。一方、電気機械は、高い生産水準を維持している。輸送機械は、半導体不足の改善などから増加している。一般機械は、EV 向けの需要が堅調なことから増加している。このように、生産活動は、全体では、緩やかに持ち直しつつある。

- 自動車向けの需要は堅調なものの、中国の不動産市況の回復遅れなどから、海外向けの生産量が減少している。（鉄鋼）
- 自動車向けの需要は堅調なものの、ノートパソコン向けはリモートワーク特需の在庫消化が続いており、生産量が減少している。（プラスチック製品）
- 半導体の在庫調整の進展により、高い生産水準が継続する見通しである。（電気機械）
- 半導体の供給制約が改善する中、海外販売が好調なことから、生産量が増加している。（輸送機械）
- 海外のEV 向け需要が堅調であることから、生産量が増加している。（一般機械）

■ 雇用情勢 「持ち直している」

有効求人倍率は、引き続き高水準で推移している。新規求人数は、前年を下回っているものの、ほぼ横ばいで推移している。このように、雇用情勢は持ち直している。

- 生産ラインの増強により派遣社員を採用しているが、優秀な人材は大手に流れるほか、契約単価も上昇しており、人手の確保に苦労している。（自動車）
- ハローワーク、求人サイト、ホームページ、チラシなど、求人内容によってさまざまな募集媒体を使い分けているが、人手不足の状況は変わらない。（小売）
- 人手不足のなかで、働ける日数や時間に制限がある人も積極的に採用している。（宿泊）

■ 設備投資 「5年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年10-12月期

- 製造業では、「その他製造業」などで減少するものの、「自動車」、「生産用機械」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「建設」などで減少するものの、「電気・ガス・水道業」、「運輸、郵便」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 新型車向けの設備投資を実施。(自動車)
- カーボンニュートラル関連の設備投資を実施。(電気・ガス・水道業)

■ 企業収益 「5年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年10-12月期

- 製造業では、「非鉄金属」などで減益となるものの、「自動車」、「金属製品」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、「宿泊・飲食サービス」などで増益となるものの、「運輸、郵便」、「情報通信」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超幅が拡大している」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年10-12月期

- 企業の景況判断 BSI は、「上昇」超幅が拡大している。なお、先行きは「上昇」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、分譲住宅、給与住宅が増加しているものの、貸家、持家が減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を上回る」

- 輸出(円ベース)は、鉄鋼などが減少しているものの、自動車、一般機械などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジアなどで減少しているものの、西欧などで増加している。
なお、輸入(円ベース)は、石炭、化学製品などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、大洋州、中東欧・ロシア等などで減少している。

広島県内経済情勢報告

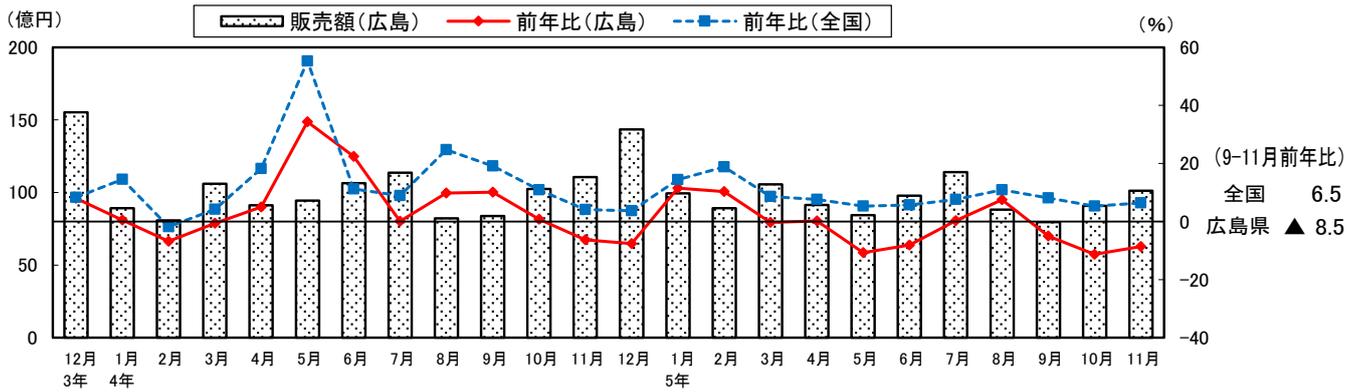
(令和6年2月1日)

資料編

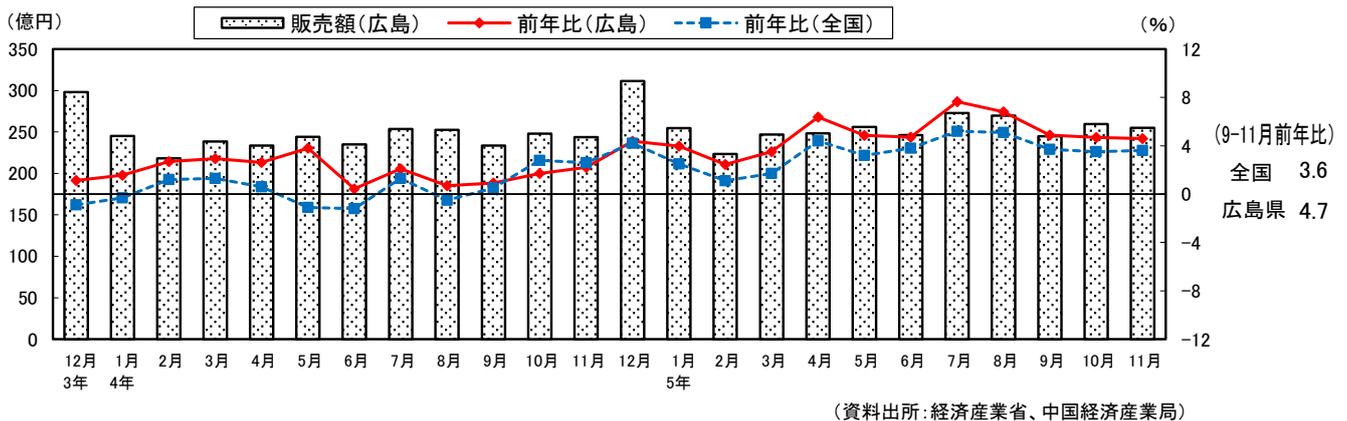
	目次	ページ
1.	個人消費	1
2.	生産活動	3
3.	雇用情勢	4
4.	設備投資	5
5.	企業収益	5
6.	企業の景況感	6
7.	住宅建設	6
8.	輸出	7

1. 個人消費 緩やかに回復しつつある

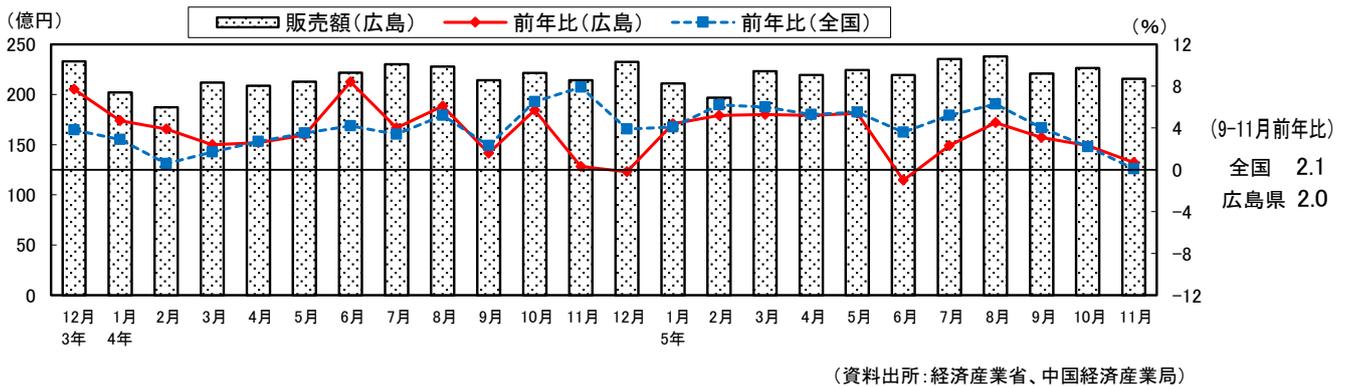
(1) 百貨店販売額(全店舗)



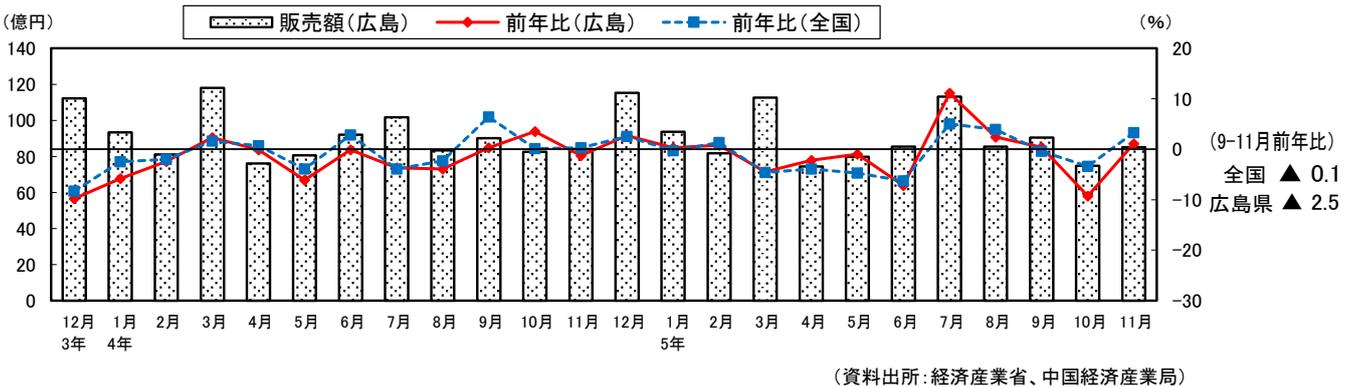
(2) スーパー販売額(全店舗)



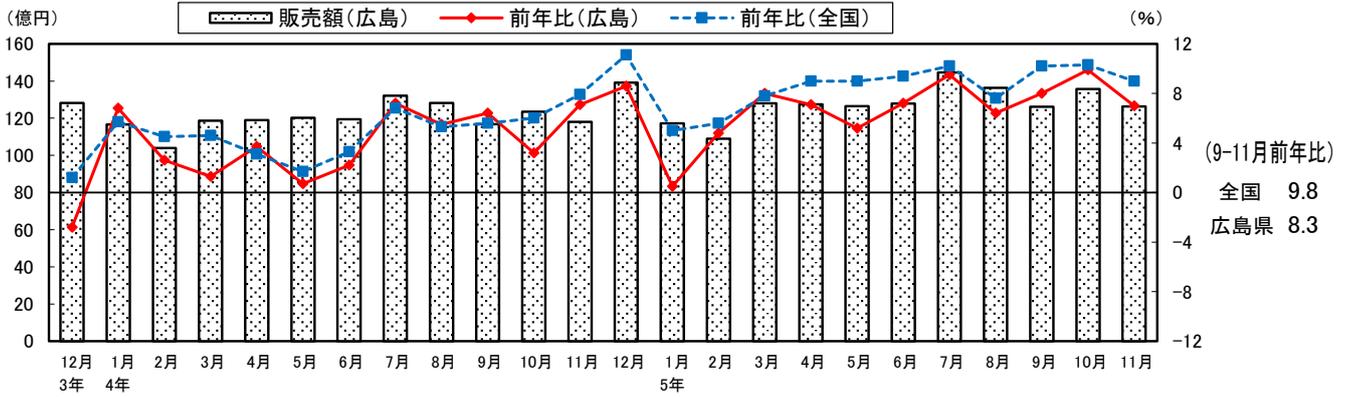
(3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



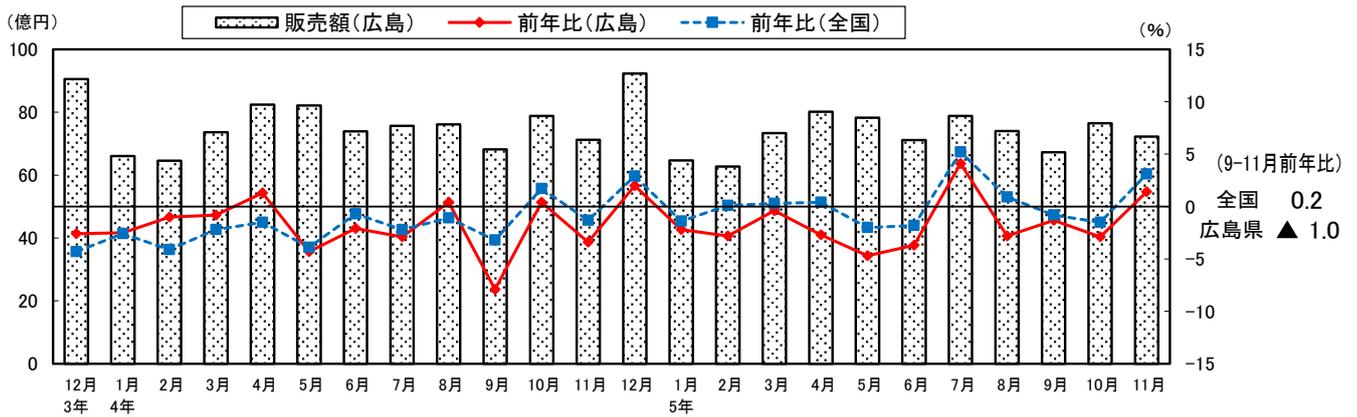
(4) 家電大型専門店販売額(全店舗)



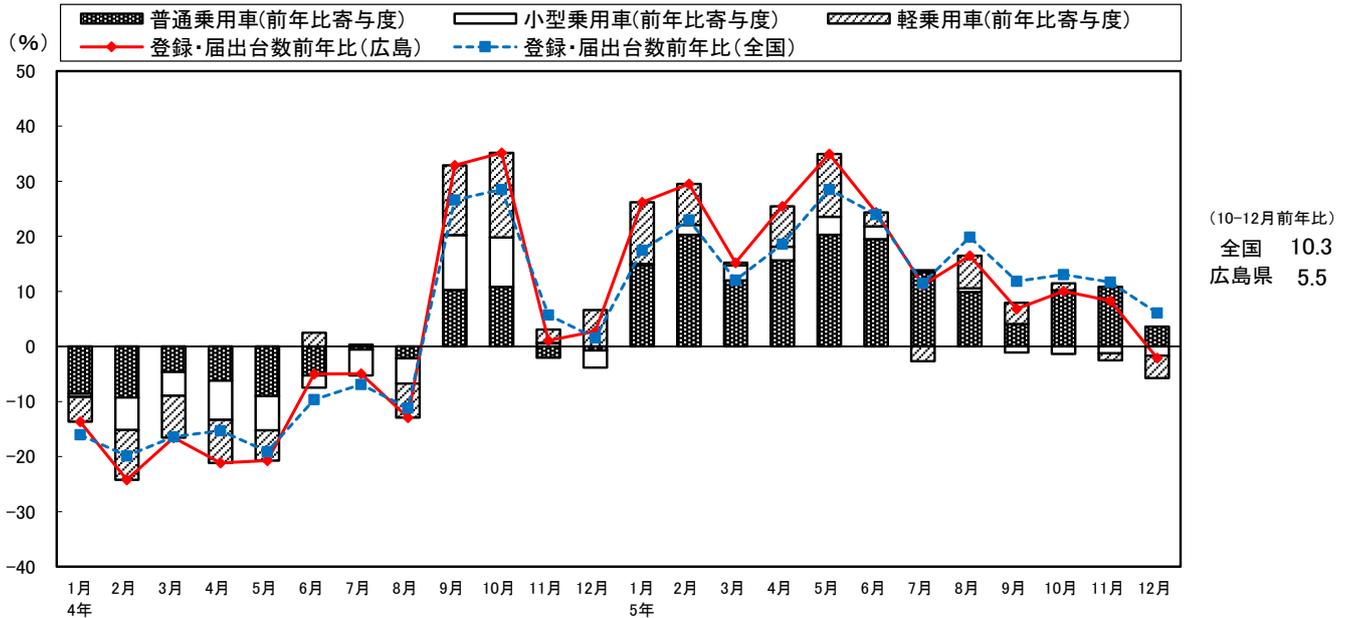
(5) ドラッグストア販売額(全店舗)



(6) ホームセンター販売額(全店舗)



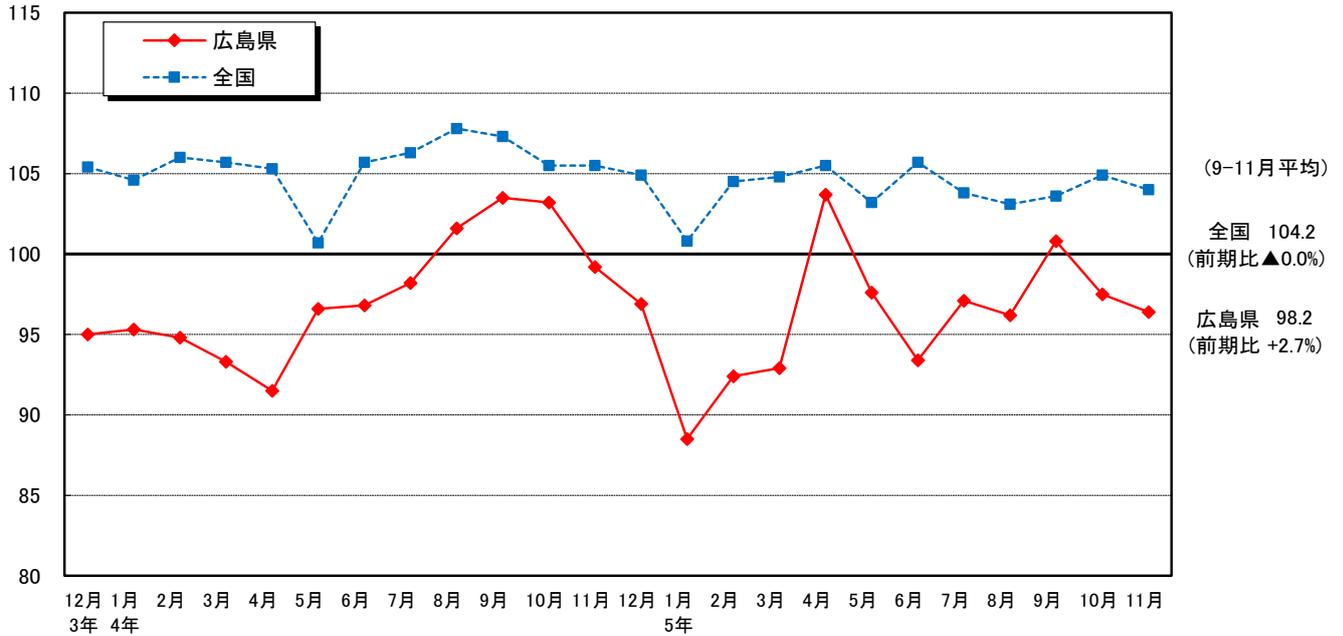
(7) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



2. 生産活動 緩やかに持ち直しつつある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

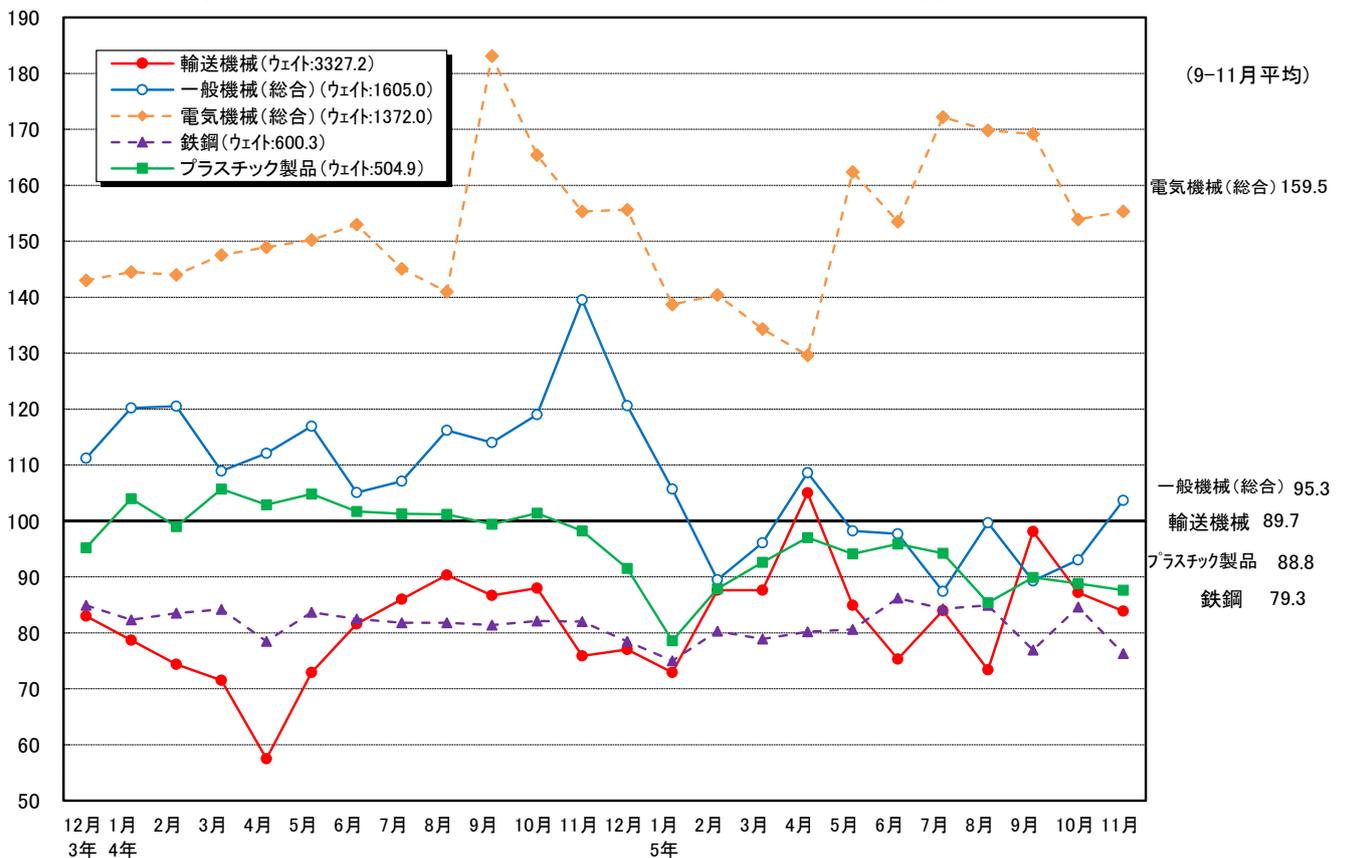
(指数) 全国(令和2年=100) 広島県(平成27年=100)



(資料出所: 経済産業省、広島県)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

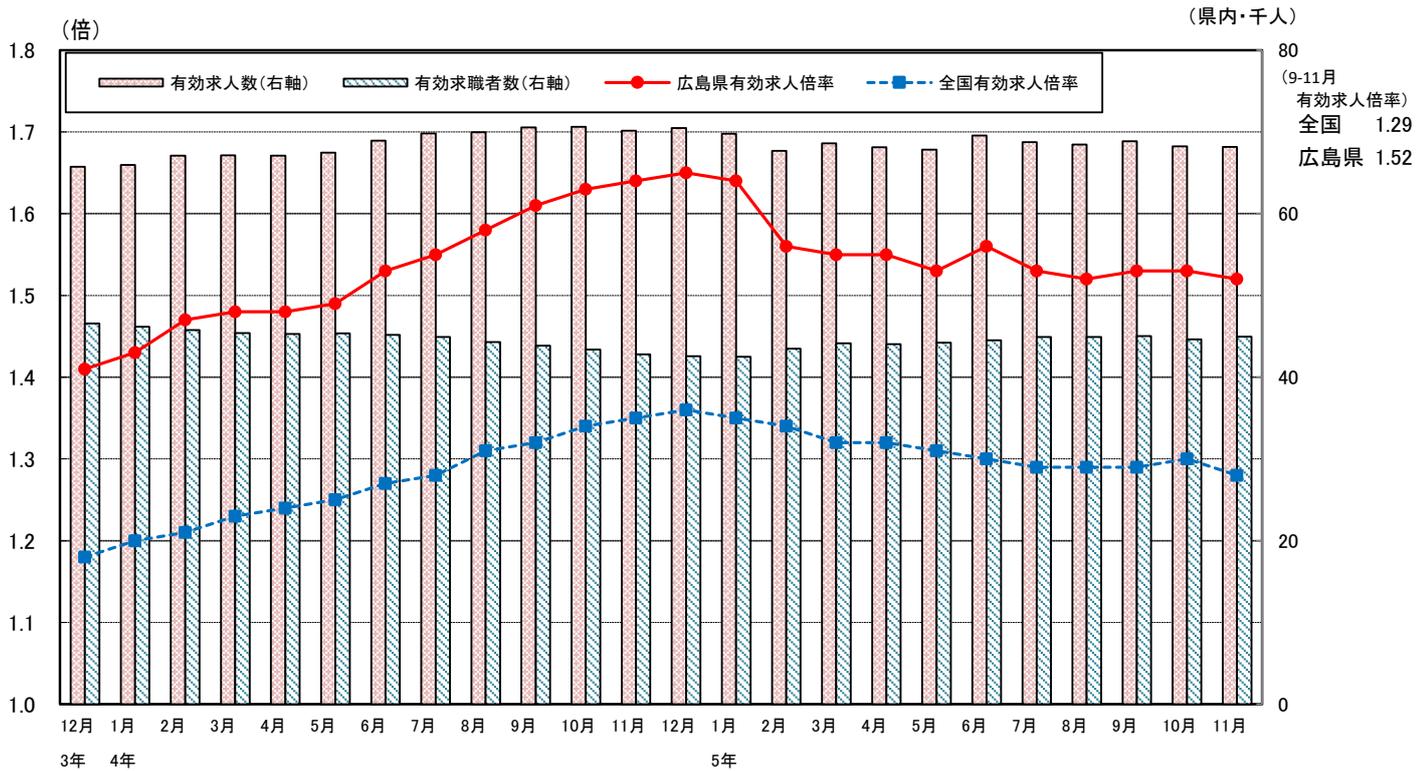
(指数) (平成27年=100)



(資料出所: 広島県)

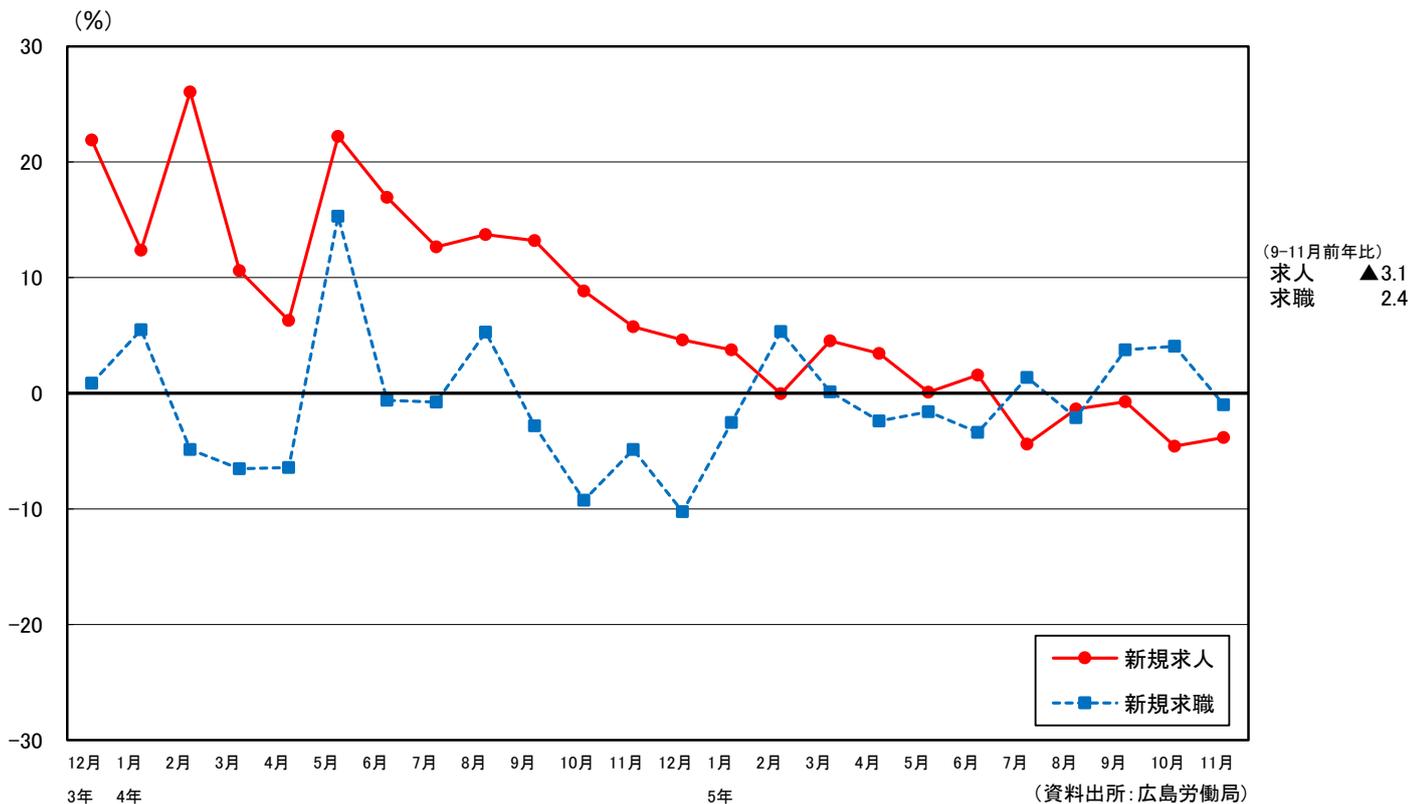
3. 雇用情勢 持ち直している

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



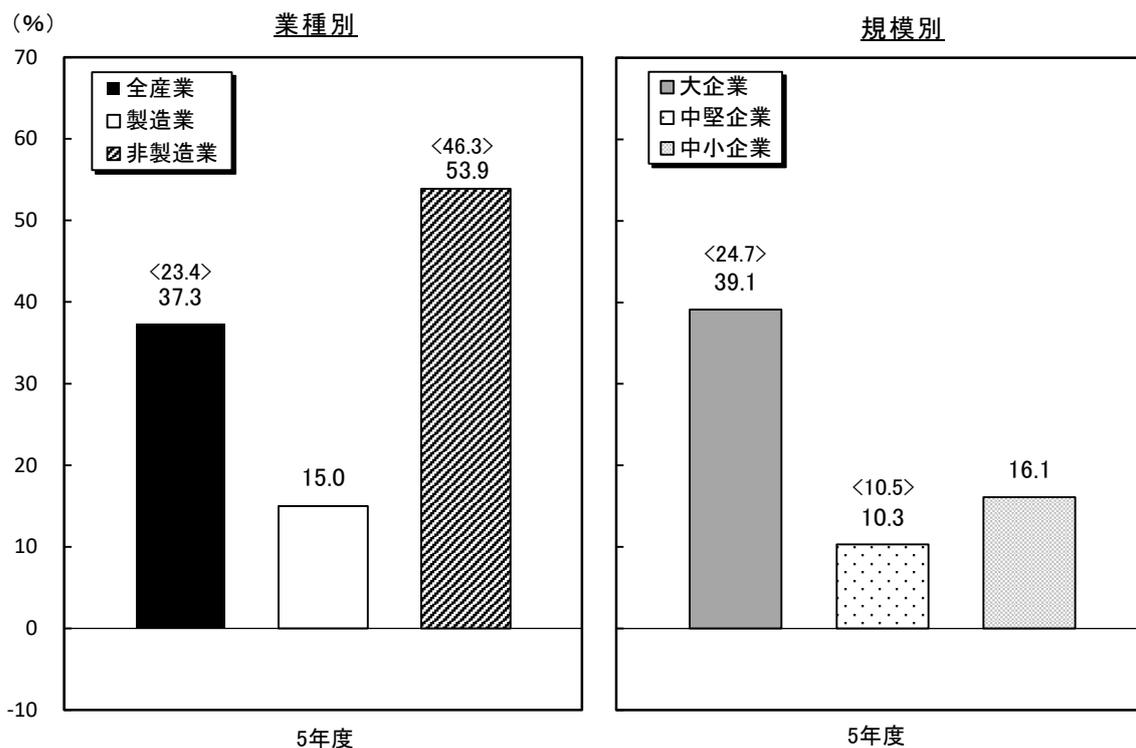
(資料出所:厚生労働省、広島労働局)

(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



4. 設備投資 5年度は前年度を上回る見込み

設備投資額(前年度比)

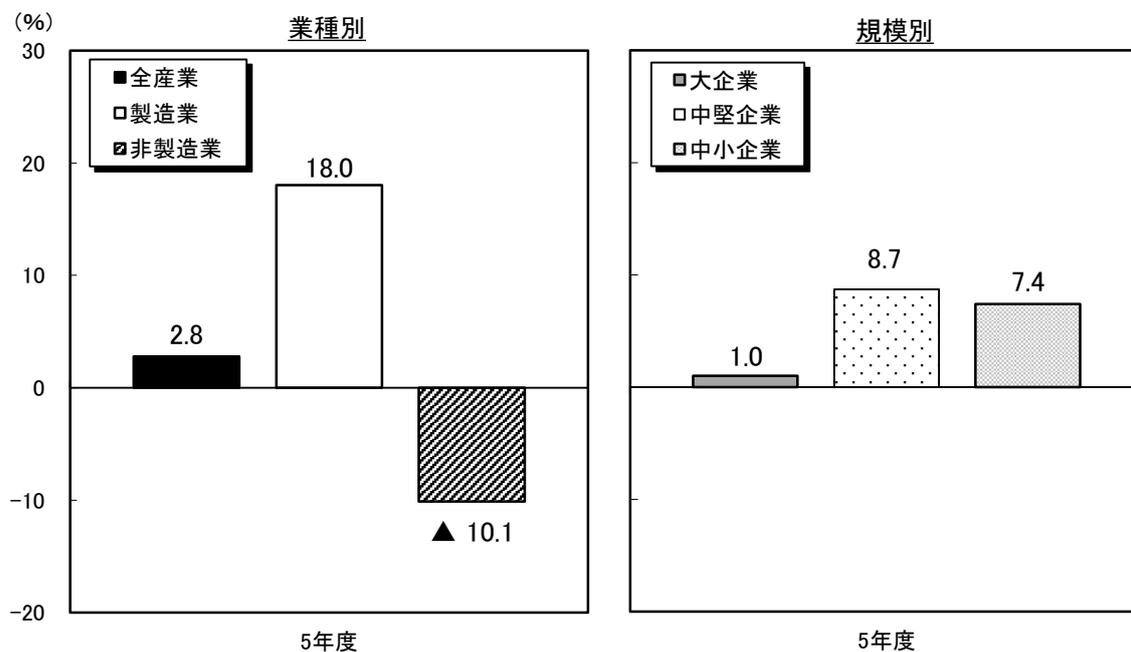


〈 〉書きは電気・ガス・水道業を除く前年度比

(資料出所: 中国財務局)

5. 企業収益 5年度は増益見込み

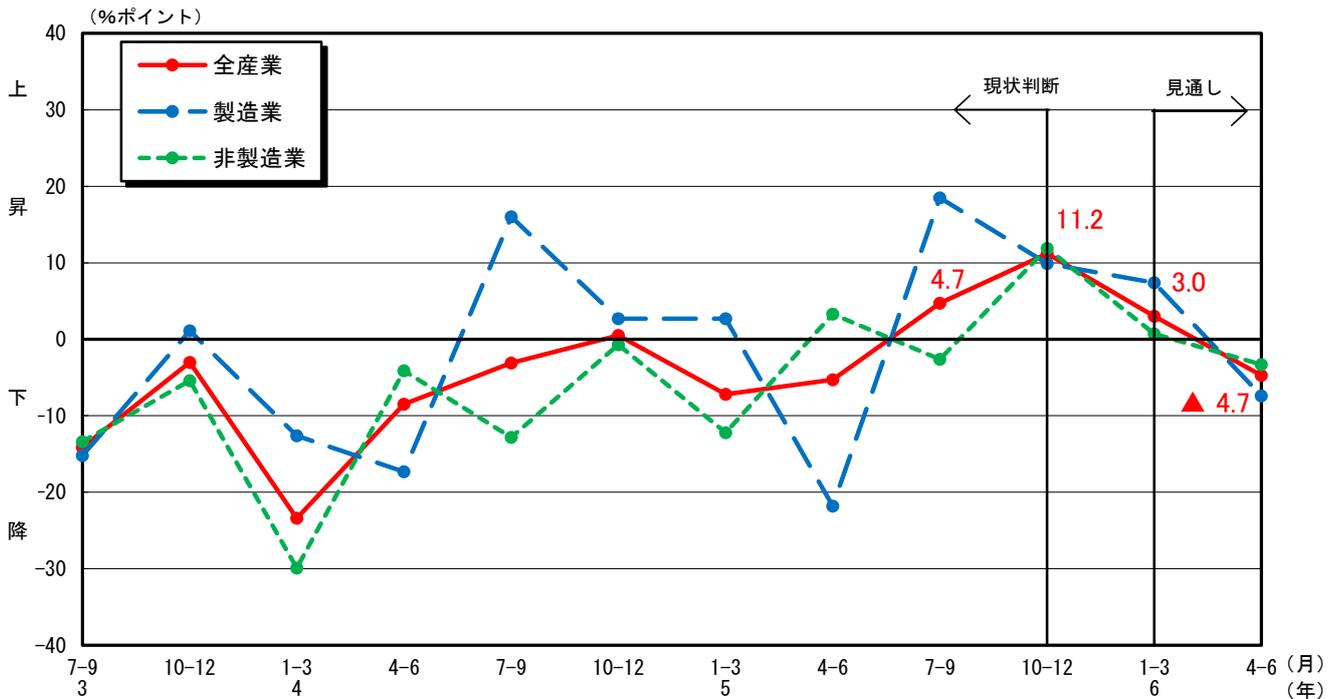
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く: 前年度比)



(資料出所: 中国財務局)

6. 企業の景況感 「上昇」超幅が拡大している

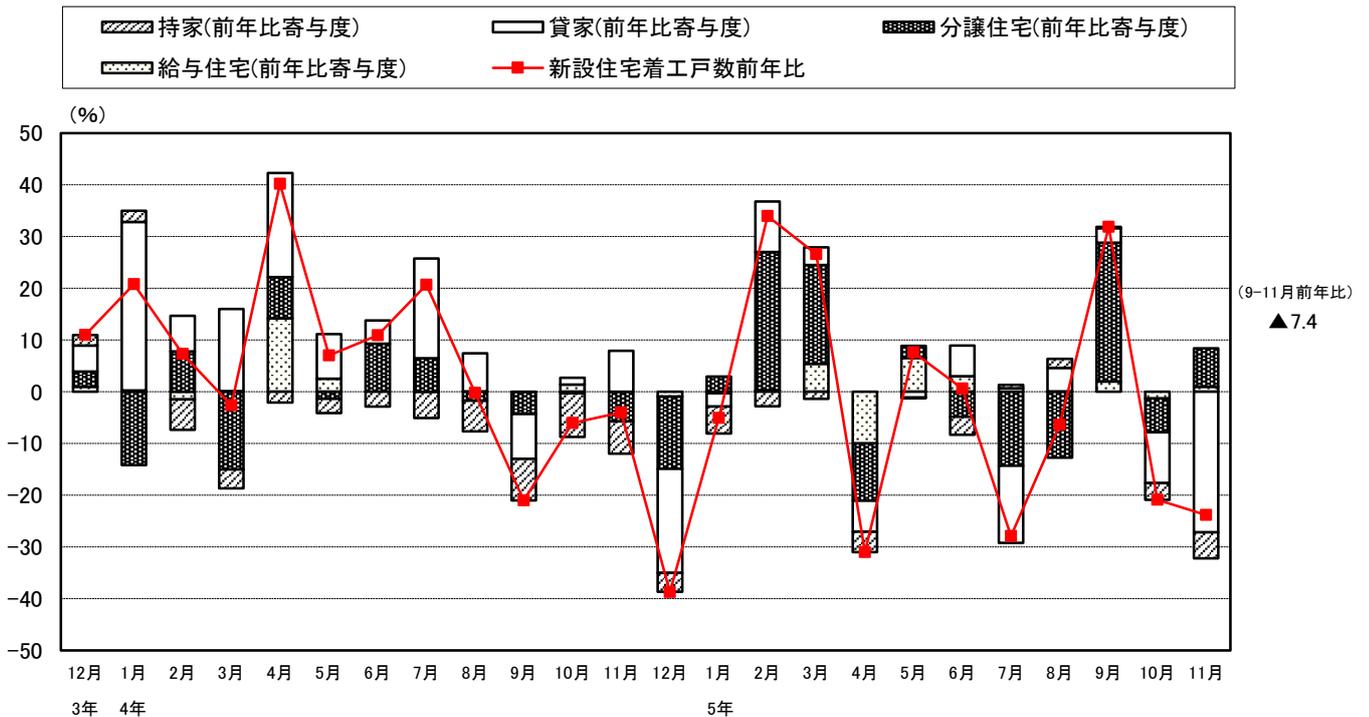
景況判断BSIの推移(原数値)(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



(資料出所: 中国財務局)

7. 住宅建設 前年を下回る

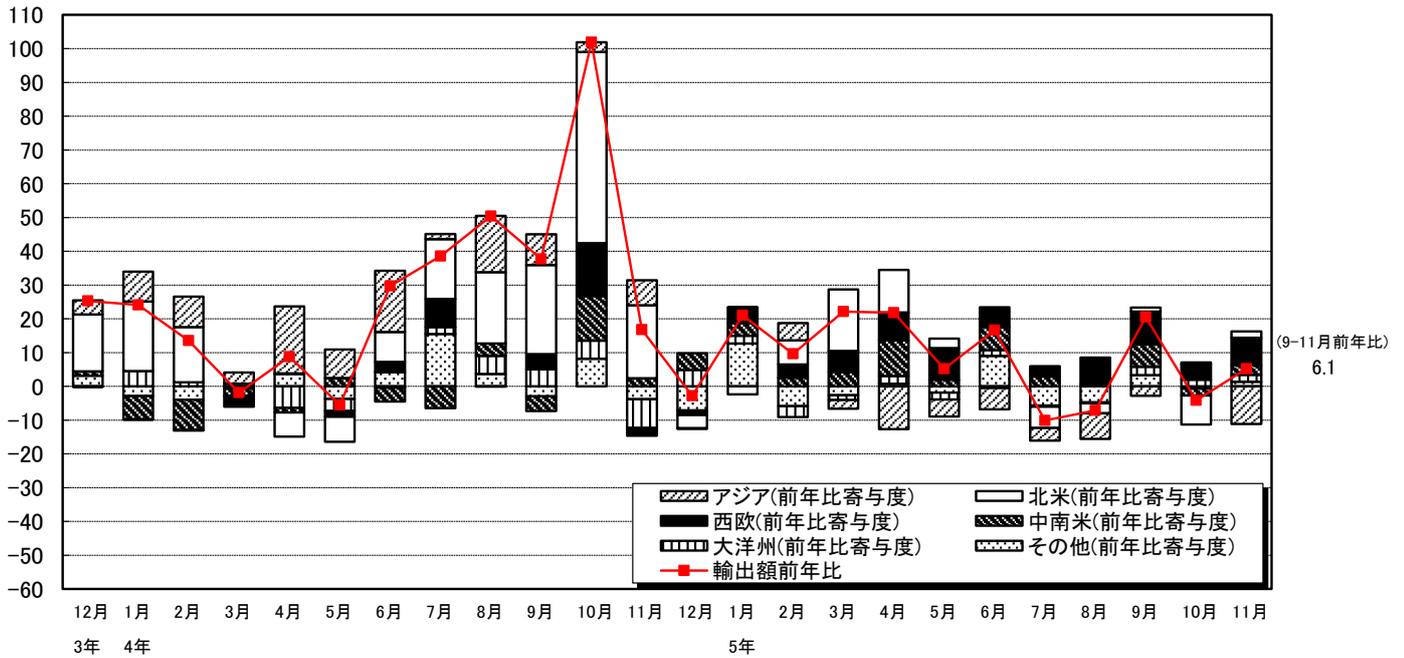
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 輸出 前年を上回る

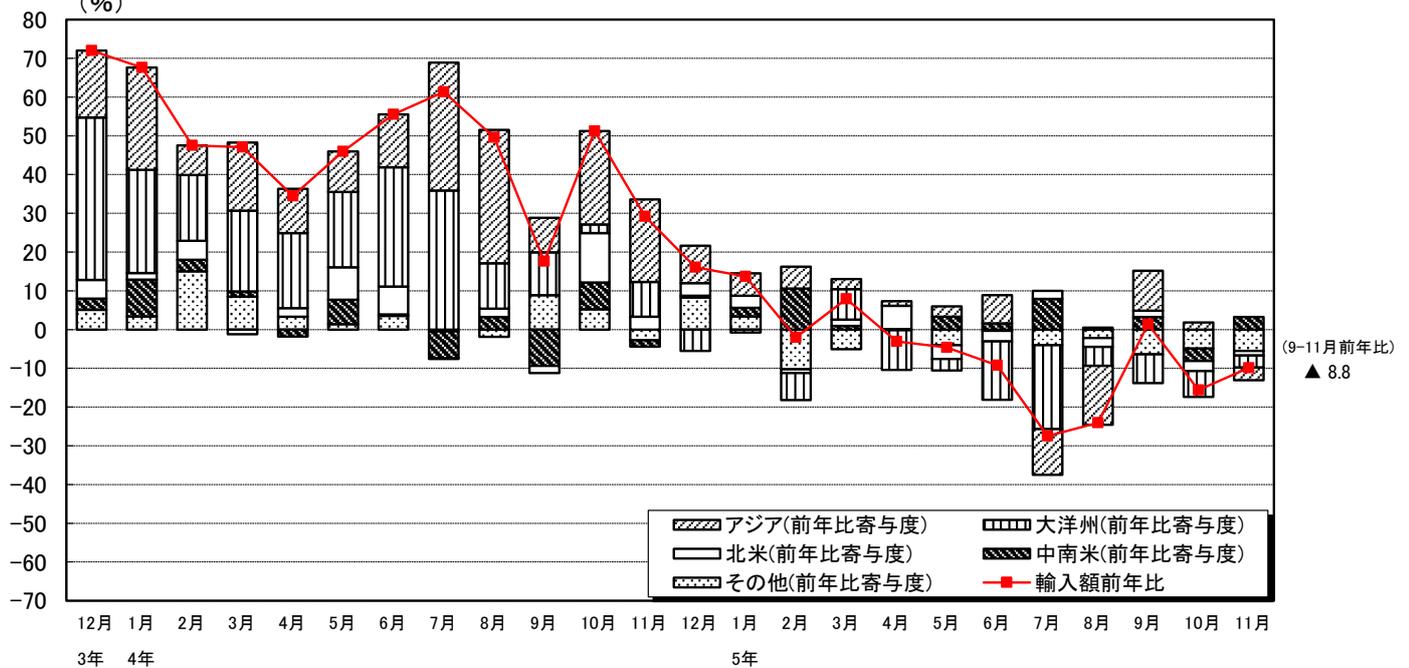
輸出(円ベース)
(%)



(資料出所: 神戸税関)

<参考>

輸入(円ベース)
(%)



(資料出所: 神戸税関)